

# あびら 回顧録

## ～昭和43年12月編

できごと イタイタイ病を公害認定／郵便番号制スタート／白バイ警官に扮した3億円事件  
 世相 全国115大学で紛争／タレント議員大量進出  
 歌 好きになった人(都 はるみ)／三百六十五歩のマーチ(水前寺清子)  
 テレビ 巨人の星／キイハンター／サイボーグ009／あねいもうと  
 映画 黒部の太陽／ロミオとジュリエット／卒業

### 町報 おいわけ

#### 追分中学校 全力をあげて校舎再建へ

##### 米沢完成を目前

追分中学校は、町内では最も古い歴史を誇る。創立以来、常に教育の発展に努めてきた。昭和43年11月、校舎が火災で全焼した。町民の熱意と、関係者の協力により、わずか1ヶ月で校舎が完成した。12月15日、落成式が行われ、新しい校舎で授業が始まった。

追分中学校の校舎は、昭和11年に完成した。戦時中は疎開校舎として使われ、戦後は普通校舎として使われてきた。昭和43年11月22日、校舎が火災で全焼した。町民の熱意と、関係者の協力により、わずか1ヶ月で校舎が完成した。12月15日、落成式が行われ、新しい校舎で授業が始まった。

落成式には、町長、町議会議員、関係者、保護者、教職員、生徒、町民など、多くの方が参加した。町長は、新しい校舎の落成を歓迎し、追分中学校の発展を期すことを述べた。校長は、新しい校舎で、よりよい教育を提供することを誓った。

追分中学校は、町民の熱意と、関係者の協力により、新しい校舎を完成させた。これにより、追分中学校の教育環境は、大きく改善された。追分中学校は、町民の熱意と、関係者の協力により、新しい校舎を完成させた。これにより、追分中学校の教育環境は、大きく改善された。

12月 151号 1968

→農村に花嫁さんを運動が推進されていた当時、農村の花むこ花よめとして、めだたく結ばれたお二人の結婚式が紹介されています。



町内トピック

#### 農村の花むこ花よめ

最近各地で、農村に花むこ花よめとして、めだたく結ばれたお二人の結婚式が紹介されています。これは、農村に花嫁さんを運動が推進されていた当時、農村の花むこ花よめとして、めだたく結ばれたお二人の結婚式が紹介されています。

### 火の用心

→昭和43年11月22日に発生した追分中学校の火災について、改めて「火の用心」を呼びかけました。

中学校の火災で、火の用心が呼びかけられました。火災の原因は、調理室のガスコンロの故障によるもので、火事になった。火災発生後、関係者は火災の原因を調査し、火災の原因を特定した。関係者は、火災の原因を調査し、火災の原因を特定した。

火災の原因は、調理室のガスコンロの故障によるもので、火事になった。火災発生後、関係者は火災の原因を調査し、火災の原因を特定した。関係者は、火災の原因を調査し、火災の原因を特定した。

←昭和43年11月22日に発生した追分中学校の火災について、改めて「火の用心」を呼びかけました。

昭和43年12月広報おいわけ

同年10月25日付人口 6,326人 (男3,133人/女3,193人)

#### 「おしくも準北海道」になった 富岡乳牛経済検定組合

富岡乳牛経済検定組合は、北海道二位になったことを報告しています。組合は、北海道二位になったことを報告しています。組合は、北海道二位になったことを報告しています。

富岡乳牛経済検定組合は、北海道二位になったことを報告しています。組合は、北海道二位になったことを報告しています。組合は、北海道二位になったことを報告しています。

←酪農北海道一を目指して、酪農経営の合理化を推し進めた富岡乳牛経済検定組合が惜しくも北海道二位になったことを報告しています。

#### 農村花嫁さん 第1号決まる

町知事からもお祝い

先月、町産業課内に農村に就労する若い人達の結婚相対のために、農村住民への自立心意欲、実践活動推進のために特別力を入れ、農村後継者に対しては、明るい希望と誇りをもち仕事に情熱をもって専念出来るよう、町、農協が中心になり、「農村へ花嫁さん」結婚相談所を開設してから、1ヶ月早くも、第1号の花嫁さんが現われ事務局では好調のスタートと喜んでいます。また年度内の農村後継者の結婚は目標と見えています。

第1号の花嫁さんは、森下静一君と藤田節子さんの両君。2人は共に同じ部活に在りて、互いの知りすぎた仲。森下君は、長男として一家の柱となり経営者。藤田節子さんは、専業主婦として、自立心旺盛な勤労意欲に富んだ青年です。森下君は高校卒業と同時に、農業学高等科、農科大学、愛媛大学で勉強。また社会教育に対しても意欲的に活動し、青年会会長、社会教育委員などを通じて農村青少年の育成に全力を注いでいる。また彼は昨年11月道から

## はやきた12月

発行 早来町 編集 広報委員会 印刷 千原印刷株式会社 第124号

オリエンティック 日本代表目ざして

秋の日のけしき。真白い雪を歩いて、今日も。なすらに走り続ける。最後まで、くじける者もなく走り続ける。さあ、もう少しで。君達のレースだ。頑張ってください。夜更の運動場。ヘッドトレーニングは続けられる。

→昭和43年11月に町と農協が中心となって「農漁村へ花嫁さん」結婚相談所が開設されてから、早くも1か月で第1号の花嫁が決定し好調なスタートを切ったと報告されています。

昭和43年12月広報はやきた

同年10月20日付人口 7,179人 (男3,632人/女3,547人)

年代が古くなるにつれ、当時の人口集計期日が異なっています。

このページに掲載した広報紙を閲覧になりたい場合やお問い合わせは総務課情報グループ (☎22511) まで